

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者 (所) 情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	放課後等デイサービス 楽々				
事業所番号	4650005483				
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市清和4丁目1番40号				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 27 日				
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2にURLを記載			
	2. 内容	www.Keiseikai-kagoshima.jp			
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>				

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	重村 晶子
連絡先 (TEL)	099-297-4800

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス もぜ (楽々)			
○保護者評価実施期間	令和8年1月20日		～	令和8年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28世帯	(回答者数)	17世帯
○従業者評価実施期間	令和8年1月20日		～	令和8年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域の視点で月々の活動を通して飽きない事業所・環境・教材作りに努めています。	シャトルラン・体育館遊び・製作など2つ、3つと個々のニーズに合った活動を段階的に準備したり、部屋を有効に使い分けながら気持ちの立て直し・切り替え等5領域を幅広く網羅した活動を提供しています。	参加が難しいお子様には課題の取り組みとして、階段歩き・絵カード・視覚支援等行い、更なる取り組みの幅を広げられるようにして参ります。
2	進学・就労に向けて将来をしっかりと見据えた経験値向上、コミュニケーション力強化、体力作り等に努めています。	お仕事ゲーム(タイピング・カフェ練習・文字の試写や電卓計算等)や主語と述語の言葉遊び等を工夫しています。また、斉唱や手話歌・ミニピアノ経験、季節のクッキングも個々の段階に合った取り組みを継続しています。	カフェ練習など、少し背伸びした活動で成長や課題を保護者様に感じてもらっており、今後も将来に繋がる経験値向上を目指して参ります。
3	地域や学校との連携強化やご家族支援を丁寧に行っております。	地域の方々やイベントを楽しんだり、身近な児童クラブと子ども食堂参加を通して交流を深めたりなど地域に根差した行事・活動から社会性を養う機会を設けています。	地域社会や学校、ご家庭での困り感などにも段階的にステップアップできるよう地域の中での生活体験や自己完結出来る練習等更に幅広くチャレンジして参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族同士、ご兄弟を交えての交流の場提供、イベントの発信など	家族会などの内容が研修報告や直近の現状について話し合う形に限られてしまっているため方法など検討中です。	まずはご家族それぞれのニーズをお聞きしながら身近に楽しみ交流できる方法を即実行できるように実践して参ります。
2	屋外での自立活動・共存する力を習得する場の強化	屋外での修得環境が限定的になっており、屋外での遊びの工夫を検討中です。	法人内の屋外・全天候型設備の利用検討を行って参ります。
3	言語聴覚士や理学療法士等との連携報告・その他個別支援分野	個別対応で取り組んだこと、専門講師とのやりとり、課題への次への助言等について報告の機会が少ない。	月間予定表に告知したり、申し送り時に具体的に専門講師が携わったことの報告など保護者様への支援報告をもっと細かく充実させて参ります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	もぜ (楽々)
------	---------

公表日 令和8年2月27日

利用児童数 令和8年2月10日時点 34名

回収数 17名 (50%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	0	0	0	・建物自体は小さいですが、中は工夫されているようです。 ・活動に合わせてお部屋を変えたり、分けたりしてスペースは確保されていると思います。	⇒活動内容や個別対応などで部屋を分けたり大きく使ったりして工夫しているところです。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	2	0	・利用者に対して職員が少ないかなと思います。もう一人ほど増やしてもいいのではないかと思います。 ・見られていない間が多かったり、それぞれに細かい配慮するには職員数が足りないように思います。	⇒お子様の現状に合わせて、他事業所から協力体制を整えながら対応を更に強化してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2	0	0		更に館内のわかりやすい構造など配慮に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2	0	1	・専門的かと言われると、児童クラブとそれほど差がないように感じます。保育士さんのような役割以外に、作業療法士・理学療法士など専門性のある職員さんもいるのかなと思います。 ・子どもがひとりで行える行動範囲をもっと広げたいと思っています。高校卒業後は天文館にある就労支援移行に一人で進ませたいので相談させていただきたいと思っています。	⇒法人内の言語聴覚士や理学療法士にも不定期ではありますが療育に参画し助言等も頂いております。周知が不十分なので、今後啓発等も含めてお知らせ等を強化してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	0	・いろいろな分野の活動を楽しく用意してくださりありがとうございます。 ・問題箇所に忠実で伸ばしにくく、それでも改善されてきています。	⇒5領域プログラムに沿ってお子様の幅広いニーズ・課題・生活上の悩み等に即した支援内容計画を立てております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0	・相談支援の担当の方もよく話を聞いてくれても助かっています。 ・丁寧に聞き取りをして、保護者の要望と、集団内での課題と合わせて計画作成されていると思います。 ・子ども自身の希望に対する計画性が大きく伸びています。他者に関して次につながる一歩だと思いました。	⇒放課後等デイサービス計画作成には半期ごとに保護者様に5領域に即したアセスメントを行い、お子様・保護者様の主訴、お子様の課題や様子を鑑みて作成しております。個別支援会議にて保護者様と支援内容について話し合い、具体的な方向性やフォロー等について共有・支援に努めております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1	0	0	・「出来るようになる」支援をして下さっていますが、一方で出来ないことについての指摘をされるだけでそれについての対策が講じられていない事も多いような気がします。	⇒家族支援として活動後の申し送り等でわかりにくい伝え方があったという事で申し訳ない所です。次につながる活動の振り返りや要望の確認など支援の質向上を行ってまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1	0	0		それぞれの放課後等デイサービス計画に合った活動内容を通して効果的な療育と自立支援の質向上を目的に努めております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	0	0	0	・1か月に1回しか通えてないですが、いろいろ工夫されて楽しいようです。	お子様の強みと課題を把握し、日常生活や学校生活等でいかせるように経験値向上から自信樹立・飽きない取り組みへと工夫を重ねております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	1	1	・わからない ・他事業所は2名、3名なので大人数は経験が少ないです。	⇒近隣の児童クラブ等と夏祭りやイベントへの参加など交流機会も増えてきました。また星ヶ峯のふれあい館にて音楽祭にも参加できたので今後も継続していきたいと考えております。
保護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		10月から始まった支援費有償化の説明も事前に行ったところですが、今後もわかりやすい説明に努めて参ります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1	0	1		⇒ご参加はやや少ないですが、家族会などで情報共有の場を設けております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	16	1	0	0	・連絡帳アプリやお迎え時にお話ができるので、共通理解できていると思います。	⇒申し送りの際に、お子様の様子についてお話しさせていただいております。今後も申し送り時や個別支援会議等を通して、お子様についての共通理解を図って参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	0	・担当の先生と密に話しができ、頼りにしています。やはりころころ変わると子どもも戸惑いが出るので、あまり異動がないほうが助かります。	⇒年に2回の個別支援会議、個別での面談や担当者会議を設定しております。ご不明な点などございましたら、いつでもお掛けください。

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	0	・活動でできたことを一緒に喜んでもらったり、ちょっとした問題を伝えると一緒に考えてもらったり、共感的に感じます。	⇒今後もお子様方の成長に際し小さな気付きも大切に丁寧な支援を心がけてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	1	0	2		今後ご家族様のご意見もいただき、イベントの企画・発信に努めてまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	0		相談しやすい環境作りに努め、相談があった際には日程調整を行い担当者会議等を実施しております。どうぞ遠慮なくお声掛けくださいますようお願いいたします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	0	0	・気分が軽く過ごせているのが、一番ありがたいです。	お子様と保護者様の仲介に努め、わかりやすい表現で活動を振り返る等今後も努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	0		個人情報に留意しながら活動写真での振り返りなどにかかっています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0		個人情報の取り扱いには十分配慮しており、契約書の『利用者の記録や情報の管理、開示について』の項目に則り、注意してお取り扱いしております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	0		事故や感染に関する対応、また発生を想定した訓練等も非常事態に備えて行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	0		毎月地震・火事の訓練を行っております。風水害に関しては、夏に訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		安全計画を策定し、職員会議の時間を活用して情報共有や机上訓練を行っております。また危険予測を行いながら、環境設定や見守り・支援に努めております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	1		お子様の怪我や体調不良など、すぐに保護者様にご連絡をし、お子様の様子や怪我の状況についてお話しさせていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		お子様が安心して通えるよう、お子様との信頼関係を築き、支援に努めております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0		活動や職員・友達との関わりなどを通して、お子様が通いたい、楽しかったと思ってもらえるよう、支援に努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	1		今後も小集団・個別などニーズに沿った活動を提供し、お子様や保護者様の意向をくみ取った支援を行ってまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	もぜ (楽々)			公表日	令和8年2月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容によっては、他の部屋も活用しながら、お子様が取り組みやすい環境を整えております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		職員は基準を満たして配置しております。現場の状況に応じて、他事業所から協力体制を整えながら対応しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様の気持ちの状況や遊びの内容に応じて別途部屋の対応を行いながら、過ごしやすい環境作りに努めております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の朝礼・終礼などで、業務改善を図るために気付きなどを共有する機会を設けております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回の評価をもとに、職員間で具体的に不足しているところなど改善等を協議し対応を行っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1on1ミーティングを行う中で、職員の気付きを共有しながら業務改善に繋げております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者の外部評価の実施に向けて、検討・協議しながら今後対応を行って参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人の研修や療育研究会、その他様々な研修等に参加を行い、職員の資質向上に繋げております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		慶生会のホームページにて公開しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントでの方向性や課題を事業所職員間で共有し、わかりやすい具体的な計画の作成に努めております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		お子様の支援に関わる中で、職員間でタイムリーな現状に沿った共通理解を図り支援を行っております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援ができるよう、面談終了後の朝礼や職員会議等で支援内容について意見を出し合い、共有しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		昨年度から書式を変更し、お子様の様子観察を行いながら5領域に沿ったアセスメントを行っております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの項目を踏まえ、お子様の強みや課題に合わせた支援内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事業所職員全員で案を出し合い、身体機能・社会性・将来性・個別支援等の活動プログラムを組み立てております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様たちが飽きずに集中して取り組めるように職員間で話し合いを行いながら随時新しい支援も加え行っております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と小集団活動のバランスを組み合わせながら個々の状況に応じて工夫しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		月単位・週単位・朝礼の時間等を利用し、活動のねらいや内容、お子様への支援方法など打ち合わせを行っております。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼・終礼の時間を利用して振り返りを行いながら次の支援へと繋げていけるよう取り組んでおります。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援内容やお子様の様子など、記録として残し、成長や変化に気付きやすくなるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6カ月ごとにモニタリングを行い、見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		自立支援や地域との交流、製作や余暇の工夫など4つの基本活動に取り組んでおります。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動や余暇活動などルールのお声掛けをしながら、お子様の意見を聞き、自己選択できる部分を設定しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当職員が出席し、お子様の様子やニーズなど情報共有が図れるようにしております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保健センターや児童相談所、各学校と関わりを作りながら支援体制を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年2回の情報交換会、送迎時などで学校と連携を図っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、各関係機関と連携を図っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		就学時から成人としての社会とのつながりにいかによう情報提供等連携を図っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		中央地区連絡会に参加し、他事業所との意見交換や助言をいただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		ふれあい館地域音楽祭参加や近隣の児童クラブとの交流等を通して地域の皆さんと関わる機会を多く持つように工夫をしております。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人の代表が出席しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		申し送りや面談時にお子様の様子やニーズなどを保護者様と話し合い、情報共有を図っております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○		今後更に事業所としてご家族様にいろいろな研修の情報提供等を具体的にいけるよう検討してまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		10月から始まった有償化の説明も事前に行い、契約時にも運営の方針等お伝えを行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントや個別支援会議でお子様やご家族の意向をお聞きし、支援計画や具体的内容に繋げられるようにしております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		年2回の面談の中で、放課後等デイサービス計画を元にお話しさせていただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご相談いただいた際には、専門的な視点からの助言や支援を心掛けております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		家族会等では自由懇談会・自由参観・模擬体験会などにご参加いただきながら交流の機会を設けております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決窓口を設置し、迅速に対応できるようにしております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月行事予定表の配布や活動の様子を館内に掲示しわかりやすく発信に努めております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約書にもある『利用者の記録や情報の管理、開示について』の項に則り、厳正に取り扱っております。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様の様子や状況に応じて、意思伝達に十分配慮できるよう対応しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		秋にハロウィンイベントを開催し多くの地域の方々にご参加いただきました。年度末に音楽会も企画し地域住民の方々の繋がりを計画しているところです。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事前にご家族に対応を確認し、全職員対応できるようマニュアル化しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月地震・火事の訓練を行っております。風水害に関しましては、夏に訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始前に聞き取りを行っております。服薬など変更がある場合には、保護者様からご連絡をいただき、職員と情報共有を図っております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーなどある場合は、栄養士も同席し保護者様との面談を行い、食事提供を行っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、職員会議の時間を活用して情報共有や机上訓練を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全計画に基づいて、取り組む前にご家族へ周知が図れるよう対応してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット共有で事故防止の事前確認にいかし、他事業所のヒヤリハットにも定期的に目を通しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月、虐待・身体拘束適正化委員会の会議を設けながら、お子様方への対応について共有を行っております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束に関するマニュアルを作成しています。お子様の安全の為、やむを得ず身体拘束が必要な場合は、本人・ご家族様に十分な説明を行い、同意を得た上での実施を義務つけております。	